

1. 授業の概要(ねらい)

あなたは、人間は猿から進化してきた、ということを信じていますか？
日本人の多くは、ダーウィンが唱えた進化論を、当然のこととして信じています。
ところがアメリカ人で一般的な進化論を信じているのは、およそ25%ほどしかいません。
アメリカは近代日本、とくに戦後日本と深いつながりをもった国でした。
しかし実のところアメリカには、日本人からすれば驚くべき側面が少なくありません。
日本とアメリカには、社会構造だけでなく、それを支える世界観や思想に大きな違いがあるのです。
この講義では、社会学Ⅰに続いて、おもにアメリカを中心としながら現代社会について考えます。
社会的な事件や社会問題だけでなく、社会思想までを含めて論じます。
アメリカを社会学的に、さらには社会哲学的に理解するのが目的です。

2. 授業の到達目標

アメリカ社会を、政治、経済、文化など、多角的にイメージできるようになること。

3. 成績評価の方法および基準

- ・原則として8割以上の出席を前提とする。
- ・適宜おこなう感想文の提出を必須とする。
- ・試験において講義内容とテキストにかんする理解度を問う。
- ・以上に授業態度をくわえ、総合的に判断する。

4. 教科書・参考文献

教科書

藤本龍児 『「ポスト・アメリカニズム」の世紀一転換期のキリスト教文明』 筑摩選書

参考文献

藤本龍児 『アメリカの公共宗教：多元社会における精神性』 NTT出版
*他の参考文献は、講義中に紹介する。

5. 準備学修の内容

リアクション・ペーパーによって明らかになった各自の課題を、次回までの準備学修の内容とします。
共有の課題については、授業のなかで適宜説明していきます。

6. その他履修上の注意事項

この講義だけで一つのまとまりをもっていますが、社会学Ⅰを履修していることが望ましい。
講義は以下のような内容を計画しています。ただし、受講者の理解や関心に応じて柔軟に改変していきます。

7. 授業内容

- 【第1回】 はじめに
*オンラインを実施する回については、状況をみながら判断し、お知らせします。
- 【第2回】 多文化主義
- 【第3回】 ポピュリズム
- 【第4回】 大統領
- 【第5回】 共和党と民主党
- 【第6回】 同性愛
- 【第7回】 中絶
- 【第8回】 ネオコン
- 【第9回】 帝国主義
- 【第10回】 植民地主義
- 【第11回】 奴隷制
- 【第12回】 南北戦争
- 【第13回】 人種問題
- 【第14回】 公民権運動
- 【第15回】 おわりに